

## ご予約・お問い合わせ

大分岡病院 地域・患者総合支援センター

TEL 097-503-5033

### ■予約受付時間

8:00～17:00 (月～金曜日)

8:00～12:00 (土曜日)

### ■診療受付時間 ※矯正歯科は土曜診療を行っています。

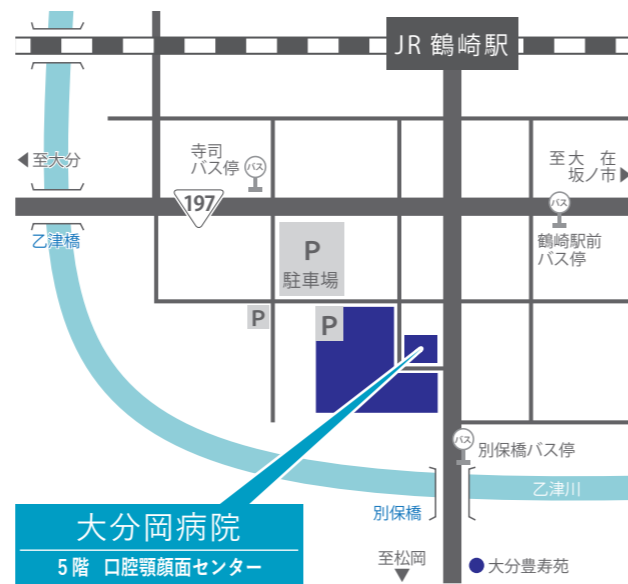
9:00～16:30 (月～金曜日)

9:00～16:30 (土曜日) 矯正歯科のみ



口腔顎顔面センター  
WEB サイト

## アクセスマップ



### 《交通アクセス》

- ・JR 鶴崎駅より徒歩 5 分
- ・国道 197 号線最寄バス停「鶴崎駅前」または「寺司」より徒歩 5 分



## 口腔顎顔面センター

— マキシロフェイシャルユニット —

あご・かお・くちのチーム医療  
《口腔外科・形成外科・矯正歯科》



社会医療法人  
敬和会 大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎 3-7-11

電話番号：097-522-3131(代) / FAX 番号：097-503-6606

WEB サイト <https://keiwakai.oita.jp/oka-hp/>

## 口と顎・顔のことでお悩みの方

口腔顎顔面センターにご相談ください。

### 1. 抜歯と薬について

**Q:** 血栓予防の薬を飲んでいる。

**A:** 内服薬を継続したまま抜歯が可能です。  
減量・休薬の必要はありません。

**Q:** 骨粗鬆症の薬を飲んでいる。

**A:** 顎の骨の状態によっては休薬後に抜歯をする場合があります。

### 2. 親知らずの抜歯について

**Q:** 入院が必要か？

**A:** 特別な理由がなければ外来治療です。

### 3. 顔について

**Q:** 下あごが出ている。ゆがんでいる。非対称。

**A:** これらの状態を顎変形症といいます。  
健康保険を使って歯科矯正治療と手術で治ります。矯正治療開始から手術まで1年程度、手術時の入院は1週間くらいです。

### 4. 口の健康について

**Q:** 口内炎が治らない。舌や歯肉に白や赤い斑がある。

**A:** 前がん病変(がんになる可能性が高い)や、がんの可能性もあります。早い受診を勧めます。

### 5. あご関節について

**Q:** あごが痛い。あごの関節の音がする。  
口を開けにくい。

**A:** いずれも顎関節症という状態です。噛む習慣、噛み合わせの高さ、大きく口を開けたなどを契機に発症します。開口障害とならないように治療をします。

### 6. 噛み合わせや歯並びについて

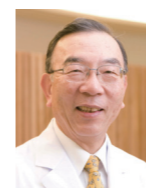
**Q:** 子どものあごがゆがんでいる。  
前歯が逆にかんでいる。口が閉じにくい。

**A:** 歯科矯正治療で治る場合が多いです。  
ご相談ください。

## 口腔顎顔面センターとは

口腔顎顔面センターは、あご、かお、口を総合的に治療するところです。口腔外科医、形成外科医、矯正歯科医など、「かお」に関する専門医が医科や歯科の枠組みを超えて「チーム医療」で、また、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士などが一緒にチームを組んで患者さんをサポートしています。当診療部門は虫歯や入れ歯などの歯科治療は行っていませんが、「あご・かお・くち」についての悩みがございましたら、お問い合わせください。

### 口腔外科



柳澤 繁孝 (やなぎさわ しげたか)

名誉院長  
資格：大分大学名誉教授、大分地方裁判所専門委員  
日本口腔外科学会認定 口腔外科専門医  
日本口腔外科学会認定 指導医  
日本がん治療認定医機構認定 がん治療暫定教育医 (歯科口腔外科)  
口蓋裂学会 名誉会員、口腔腫瘍学会 名誉会員



松本 有史 (まつもと ゆうし)

マキシロフェイシャルユニット部長  
資格：日本口腔外科学会認定 口腔外科専門医  
日本口腔外科学会認定 指導医  
日本顎顔面インプラント学会認定 指導医  
AOCMF JAPAN Delegate  
ICD制度協議会認定 Infection Control Doctor



田中 翔一 (たなか しょういち)

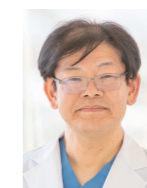
口腔外科医員  
資格：日本口腔外科学会認定 認定医  
歯学博士  
ICD制度協議会認定 Infection Control Doctor



竹内 正彦 (たけうち まさひこ)

口腔外科医員

### 形成外科



古川 雅英 (ふるかわ まさひで)

名誉院長 口腔顎顔面センター長 創傷ケアセンター長  
資格：日本形成外科学会認定 領域指導医  
日本形成外科学会認定 専門医  
日本頭蓋顎顔面外科学会認定 専門医  
日本創傷外科学会認定 専門医  
日本形成外科学会認定 皮膚腫瘍外科指導専門医  
日本フットケア・足病医学会 理事  
ICD制度協議会認定 Infection Control Doctor  
日本医療機能評価機構 (JQ) 認定 医療安全管理者



石原 博史 (いしはら ひろし)

形成外科部長  
資格：日本形成外科学会認定 形成外科専門医

### 矯正歯科



小椋 幹記 (おぐら みきのり)

矯正歯科部長  
資格：日本矯正歯科学会認定 矯正歯科認定医  
日本矯正歯科学会認定 指導医  
ICD制度協議会認定 Infection Control Doctor  
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定 認定士  
日本顎変形症学会認定 認定医 (矯正歯科)

## 診療内容のご案内

### 顎変形症

上あごと下あごのバランスや左右の対称性が損なわれている状態を顎変形症といいます。受け口、出っ歯、小下顎症、ガミースマイル(笑った時に歯ぐきが見える)などの症状が挙げられます。歯科矯正治療と手術で改善します。

### 外傷

交通事故やスポーツなどによる負傷、転落や打撲による外傷や骨折の治療を行います。傷あとや変形、噛み合わせの回復・改善を図ります。ラグビーやボクシング、サッカーなどでの歯、あごや鼻の損傷を予防するためのマウスピース、顔面部プロテクターなども作成します。また、顔面腫瘍など、顔のできものが良性か、悪性かを診断した上での治療や、手術後の変形、目立つ「傷あと」「ひきつれ」の治療も行います。

### 口腔機能の維持 生活の質を維持するために

口は生存とコミュニケーションのためのツールとして進化してきました。いろいろな組織が複雑な機能を果たし、病気などで障害されると多彩な症状があらわれます。

口や顔の腫れ、痛み、しびれ、口が乾く、味がわからない、治らない口内炎や腫瘍、口臭、口を開けにくいなどの症状はありませんか？

三叉神経痛、口腔関連痛、浮腫、唾液分泌障害、味覚障害、粘膜疾患、前がん病変、骨髄炎、膿瘍や顎関節症などの治療が対象です。

### 口唇裂・口蓋裂

生まれた時に唇が離れている状態の先天性疾患です。生後すぐに哺乳補助装置の作成、哺乳指導、手術前の鼻や唇の矯正、形成手術、言語訓練、歯やあごの矯正治療などを適正な時期に実施します。出生後から成人するまで関わります。

### 矯正歯科

あご、口元、噛み合わせ、歯並びのゆがみの相談と治療を行います。重歯、乱ぐい歯、前歯が噛み合わない、受け口、出っ歯などのゆがみの原因を成長の過程で取り除き、ゆがみの修正を行います。場合によっては、歯を抜くことや手術が必要なこともあります。必要に応じて複数の専門医(口腔外科や形成外科など)と連携して治療を進めます。

口腔顎顔面センターの診療室は、プライバシーへの配慮、感染予防の観点からすべて個室です。清潔感あふれる空間で、安心して治療をお受けいただけます。



受付



待合室



診察室



診察室

# 顎変形症

「前歯が出ている」、「うまく噛めない」、「受け口だ」・・・。  
 気になる口元のコンプレックス、専門医だから治せることがあります。

顎変形症は、上あごと下あごの大きさのバランスや、左右の対称性が損なわれている顎の発育障害です。病状は、下あごが突き出した下顎前突、噛みづらさを感じる咬合不全、上あごの歯肉が上唇より下がっているため、笑うと上の歯ぐきが見えるガミースマイルなどが挙げられます。まずは、顔、あご、歯のレントゲン撮影やCTなどによる検査を通じ、治療方針を決定するために必要な情報を集め、解析します。歯の矯正治療だけでは、解決できない場合、あごの前後、左右、上下のズレなどを

正しい位置まで移動させる外科的手術を行います。（※下あごの成長が終わった15歳頃から手術可能）手術は、すべて口の中で行われるため、皮膚に傷あとなどは残りません。また、全身麻酔で行なうため、手術中に痛みを感じることもありません。全身麻酔については、専門の麻酔医が常勤し、術前術後管理を徹底していますので、安心して手術を受けることができます。手術自体は1時間半ほどですべて終了。翌日から食事を摂ることができます。

## 治療の流れ



# 矯正歯科

「笑顔に自信が持てない」「あごの動きや発音の問題」「虫歯になりやすい」  
 そのままにしておくとうこういった問題が挙がってきます。

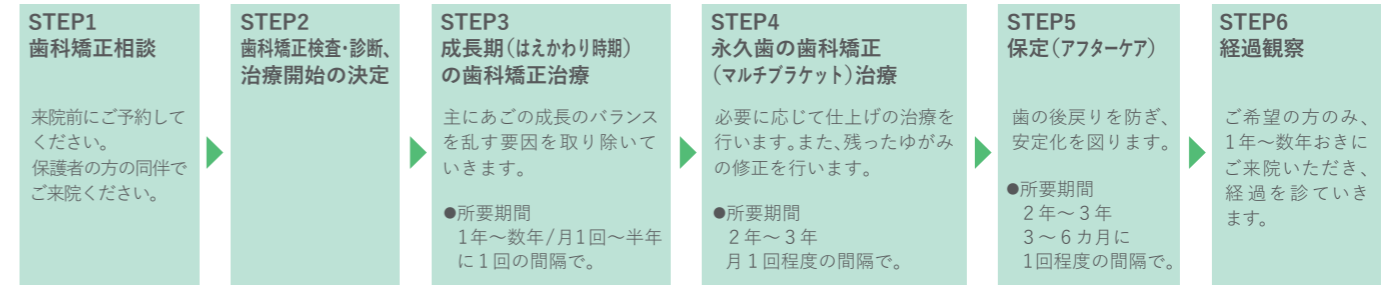
あご・口もと・噛み合わせ・歯並びのゆがみの相談と治療を行います。あご・口もと・噛み合わせ・歯並びのゆがみがあると、一般的に成長に伴ってそれがはっきりわかるようになり、また、程度がひどくなります。成長期のお子さんでは、これらのゆがみの要因を成長の過程で取り除いていきます。成長の落ちついた方では、ゆがみを修正します。このために歯を抜くことが必要な場合があります。また、ゆがみが大きい方では、手術が必要な

場合があります。必要に応じて口腔筋機能療法（噛みや飲み込み方などのお口のトレーニング）を行います。あごの動きと筋肉の動きを同時に記録できる顎口腔機能検査機器、CT128列などを使用して検査・診断を行います。必要に応じて複数の専門医（口腔外科や形成外科など）と連携して治療を進め、痛みを軽減することに取り組んでいます。子どもからご年配の方まで一度ご相談ください。



## 治療の流れ

### ■ 乳歯と永久歯が混在している成長期のお子さん



### ■ 全て永久歯に生えかわっている中学生以降のおとな

